



アクチュアリー
専門コース1年
佐藤 翔太
基礎科目4科目合格

試験対策について

私は今年度に「数学」「生保数理」「損保数理」「KKT」に合格しました。4科目合格という結果を出すことができたのは、会計研の恵まれた環境によるところが大きかったと感じています。

まずは試験対策の授業です。春学期の講義授業では、「Work Book (アク研)」での予習→授業→課題で復習のサイクルを崩さないように取り組みました。秋学期の演習授業ではアウトプットを通して今まで学習してきたことを定着することができました。特に数学については、未出問題への対応が難しく合格率が低い要因になっていると思いますが、野村先生が作って下さる予想問題でかなり対応できると思います。

同じ目標に向けて勉強する仲間の存在も大きな支えになりました。モチベーションの維持に役立った他、自主ゼミにおいてわからない問題を教えあうことで、効率よく勉強を進めることができました。夏休み明けからは友人と集まって週一で本番想定の過去問演習を行いました。アクチュアリー試験には模試がないため、これが自分の現状を客観的に知るのに役立ちました。結果をもとに次の週までにやるべき勉強を洗い出し、一つ一つ苦手をつぶしていくことで合格水準まで到達することができたと思っています。



入学検討中の方へのメッセージ

アクチュアリーを目指すうえで会計研ほど恵まれた環境は他にないと思います。試験対策だけでなく、データサイエンス等の周辺領域に関する授業や実務家から話を聞く機会も多くあり、アクチュアリーとして活躍するために必要な知識を多角的に得ることができます。これは試験勉強のモチベーションにもつながったと感じています。アクチュアリーを目指す方には自信を持って会計研への入学をお勧めします。



アクチュアリー
専門コース2年
茶嶋 良介
基礎科目全5科目合格
準会員資格取得

試験対策

私は学部4年時に「数学」、修士1年時に「生保数理」と「損保数理」、そして今年度に「年金数理」と「KKT」に合格し、アクチュアリー準会員となりました。振り返ってみると、会計研究科に所属している恩恵をフルに活かした勉強法を行ってきたのかなと思っています。例えば、会計研究科には試験対策に重きをおいた講義が充実しており、独学で勉強するよりも遥かに効率良く試験勉強をすることができました。さらに、講義の先生方はアクチュアリーとして実際に保険会社等で活躍をされており、度々実務に関する貴重なお話をしてくださるため、資格取得へのモチベーション向上にも繋げることができました。

また、講義とは別に会計研究科の同期、先輩、後輩と共に試験科目ごとの自主勉強会を定期的に開催していました。この勉強会は、事前に過去問等を解いてきた上で、理解が出来なかった箇所や各々の解法を全員で共有し、お互いに教え合う場として活用されていました。また、試験直前の時期には、本番の問題の予想を全員で話し合い、この勉強会のおかげで万全の体制で試験に臨むことができました。他にも、一人で勉強に集中したい時には院生専用の自習室を活用していました。基本的には毎日朝から夜まで利用することができるため、日中の勉強場所に困ることはありませんでした。実際に私は講義や勉強会の前後の時間に利用していたため、効率よく試験勉強に取り組むことができました。

このように、試験合格のために仲間同士で刺激し合いながら自己研鑽をしていく環境として、会計研究科は非常に優れていると感じました。



後輩へのメッセージ

会計研究科ではアクチュアリー分野だけでなく会計やデータサイエンスといった関連領域についても深く学ぶことができ、より高度なプロフェッショナルを目指すことができます。そのため、会計研究科で学べることを最大限吸収することで、アクチュアリーとしての付加価値を高めることができると感じています。後輩の皆さんも、自分の理想の将来像の実現に向けて、様々な分野の勉強に手を出してみるといいかもしれません。

また、アクチュアリーは資格保有者の数が限られた狭い世界であることから、今のうちから会計研究科で縦横の繋がりを作っておくことをおすすめします。会計研究科での仲間は、これからアクチュアリーとして働いていく中で大切な存在になってくると思うので、勉強だけでなく、交友関係を築くことにも注力すべきであると感じました。



アクチュアリー
専門コース2年
山本 紘多
基礎科目全5科目合格
準会員資格取得



試験対策について

私は学部4年時に「数学」、修士1年時に「生保数理」「会計・経済・投資理論」、修士2年時に「損保数理」「年金数理」に合格し、準会員となりました。本研究科ではアクチュアリー試験合格に向けた環境が多くそろっており、それらを有効に活用できたことが合格できた大きな要因であると感じております。授業では、アクチュアリー1次試験合格に向けた科目がありました。前期では教科書に沿って理解を深める講義形式の授業、後期では実際に問題を解きながら理解を深める演習形式の授業があり、授業の進むスピードに合わせて試験対策が出来ます。ただ、週1回の講義では演習量が不十分なので、自主ゼミや自習室での勉強を活用していました。自主ゼミとは毎週有志者で集まり、過去問などで分からない部分を議論するものであり、これらを経て理解を深めることが出来ました。学部時代は独学で試験対策を行っていた為、分からないところがなかなか解決できず、演習でも点数が伸び悩んでいました。しかし、本研究科に在学してからは授業や自主ゼミのおかげで疑問点もすぐに解決することが出来たため、点数も伸ばしていくことが出来ました。実際、学部時代は1科目しか合格することが出来ませんでした。本研究科在学中は2年連続で複数科目に合格することが出来たため、これらの効果が実感できる結果となりました。

入学検討中の方へのメッセージ

私が思うに本研究科はアクチュアリーを目指すのに最も優れた場所です。理由としては授業で試験合格に向けた講義に加え、データサイエンス・金融工学といったアクチュアリー業務に関連した講義、実際にアクチュアリーとして働いている人からの実務的な内容の講義といったものもあり、試験合格に向けた勉強も進めながら社会人になった時にも生きる知識を身に付けることが出来るからです。また、本研究科では卒業論文が必修ではなく、時間的猶予がかなりあります。私は学生時代により多くの科目を合格したいという理由から試験勉強に多くの時間を割きましたが、データサイエンスの勉強をしたり卒業論文を作成したりしている人もいました。さらに、アクチュアリーはまだマイナーな試験であり、情報を共有できる人もなかなかいません。しかし、本研究科では1学年当たり20人ほどのアクチュアリー志望者が在学しており、試験勉強を一緒にしたり、就職活動の情報共有をしたりすることも出来ます。これらは試験勉強のモチベーションの維持や就職活動の不安解消などにつながりました。私自身、本研究科に在学した2年間は、アクチュアリー試験や就職活動などに集中できた期間であり、アクチュアリーとして働くモチベーションも向上することが出来ました。是非アクチュアリーを志望している方には入学を検討していただけたらと思います。